

令和2年度 保育所評価（職員自己評価）集計結果

若狭浦保育所

1 評価時期 令和3年3月

2 集計結果

4：たいへんよい 3：よい 2：一部検討を要する 1：改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		4	3	2	1	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、子ども達の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	6	9	1	0	・保育目標をあまり意識できていなかったのが常に入れておく。
	(2) 目標は、保育所や若狭地域の特色を生かしているか。	6	7	3	0	・地域の特色はあまりないように思う。
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	9	6	0	1	・保護者のニーズに寄り添った目標設定ができていると思う。
	(4) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	4	5	4	2	・もう少し全職員で共通理解できるような場を設けてもらいたい。 ・目標設定について職員間で話し合ったことはない。 ・開所年度のため引き継ぎ要員が中心となって作成し、共通理解は不十分。 ・目標達成のため、保育内容の見直しが必要と感じる。
保育について	(1) 事業計画は子ども達の実態に即して作成しているか。	4	11	1	0	・今の子ども達に合わせて作成するようにしている。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	6	6	4	0	・指針に基づき、子ども自らが考えられるよう援助・支援をしていけるとよい。 ・できていないこともある。 ・子ども主体の保育にシフトしていく必要がある。
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	6	7	3	0	・導入は大切にするようにしている。
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	8	3	4	1	・もう少し保育教材の充実を図ってほしい。 ・様々な素材・用具に触れることができるようにしている。 ・エプロンシアターや大型絵本をもっと増やしてほしい。 ・園庭用具の三輪車等のさび
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	5	8	2	1	・先月の反省を生かし、月案を作成するようにしている。
日時程	(1) 保育日課（デイリープログラム）は現行でよいか。	7	8	0	1	・子どもの姿に合わせて多少の変動はあるが現行でよいと思う。
	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。					・日本の伝統行事に添っていて、い

行事について		9	6	1	0	いと思う。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	8	5	2	1	・意識して計画している。 ・連携が不足に感じた。
	(3) 子ども達の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	5	9	1	1	・子ども達が自主的・意欲的に取り組める内容にした。
	(4) 計画・実施・評価・改善（PDCA）の体制をとっているか。	8	4	3	1	・避難訓練等、ふらっとに反省のシートが配布されず残念だった。 ・引き続き PDCA を大切にしていく。 ・議論の深まりが弱く、PDCA が意識化されていない。
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	5	8	3	0	・今年はコロナで大変だったが、成長を見たい親の気持ちに寄り添っていた。 ・役員会やアンケートを実施して意見をもらえているのでよい。 ・今年度の意見を参考に取り組みでいきたい。 ・行事後のアンケートはとっているが全体共有し議論する体制が弱い。

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		4	3	2	1	
経営・組織	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	2	11	3	0	・人事との連携が不十分で、能率性、合理性を欠いている。
	(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	3	7	5	1	・業務分掌は明示されているが個々の職員への意識化が弱く、協働体制に至れない。 ・年間を通して人手不足で、自分の職務に集中できない。
	(3) 職員の配置は適材・適所か。	2	7	4	3	・経験年数が少ない職員が多いため、多めの配置の割に保育がスムーズでない。
	(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	3	11	0	2	・今年度はフリー保育士も少なかったが来年度からは製作物（壁面等）はできる範囲で分担したい。
運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	7	6	2	0	
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	4	5	2	5	・なかなか意見を言う環境がなかったように思う。もっと意見が活発に飛び交うような全体会議のもち方が望ましい。 ・経験の浅い職員が多く、難しい。 ・みんなが意見を言えるような雰囲気づくりと会議の工夫が必要。全体会議の前に、経験年数が近いグループやクラス単位で話し合い、全体会で話し合ったことを伝えるようなやり方等。
	(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	6	8	2	0	
クラス経営	(1) 各クラスの目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	7	7	2	0	
	(2) 各クラスの目標は、子ども達の実態に即して設定しているか。	8	6	1	1	
	(3) クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	8	6	1	1	

	(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	6	6	2	2	・日によっては、短めのアニメ DVD を観て過ごしてもいいと思う。 (18:00 ごろから) ・障害児も多かったが、もっと異年齢交流があると子ども達も成長したのでは。	
	(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	3	8	3	2	・クラス会議、低年齢、高年齢の会議があると共通理解も深まる。 ・理解と実践に個人差あり。 ・保育の方法をリーダーだけの意見ではなく担任みんなの意見を取り入れて保育を行うと、より充実した保育が行えると思う。	
	(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	5	9	2	0		
保健・安全 指導	(1) クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	6	6	2	1	対策は講じられているが、実践 b 卒にクラス差あり。	
	(2) 避難訓練・交通安全指導等を、計画に基づいて適切に実施しているか。	9	5	1	1	・事前に避難経路を確認したり、実際のことを想定してもっと取り組めたらよい。	
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	7	8	1	0		
	(4) 子ども達の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	6	7	3	0	・今年はコロナで地域とのつながりが難しかった。	
研究・研修	所内研究	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	5	5	4	2	・今年度はあまり所内研修ができていなかった。 ・所内研究・研修は少ない。 ・園内研修をもっと充実することで、よい保育が可能になると思う。
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。	5	5	4	2	・もう少し研修を受けたい。
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、子ども達の育ちに反映させているか。	7	5	2	2	
		(4) 研究の実践による子ども理解が深まりを見せているか。	7	4	3	2	
所外研究・研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	7	4	4	1	・参加者に偏りがあり、全職員に均等に参加できるシステムづくりが望まれる。	
	(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	5	3	4	4	・全体職務会で研修報告をしたら全職員で共通理解でき、保育が深まるのでは。 ・研修報告会が少ない。	
情報について	(1) 子ども達や保護者に関する個人情報을適正に取り扱っているか。	8	6	1	1		
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	10	5	1	0	・保育室からは見えないが適切と思われる。	
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	6	6	3	1	・現状は自宅で作成していることが多いので次年度以降は勤務時間内のできるよう工夫したい。 ・会議録を閲覧しやすくしてほしい。	
	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	5	7	4	0	・用務員の方には本当にお世話になっている。	

施設・設備						・安全点検は行っているが設備の安全性に欠けている部分がある。 ・古い建物のためもう少し必要。	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	5	9	2	0	・物が多いので、まだすべてのものを把握できていない。 ・古い道具が多いため整備が必要。	
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	6	9	1	0	・日々の保育の中でも更なる危機管理が必要だと思う。	
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	8	8	0	0		
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	8	8	0	0		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	3	7	5	1	・今年度はコロナで交流できなかったため来年度は期待している。 ・今年度はコロナで難しい点は多かった。
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、子ども達が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	4	4	5	2	・あまりわからない。 ・今年度は実施できていない。
		(3) 保こ幼小の指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	2	5	7	2	・研修等で行うことができた。
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、こども園・小学校の教育を理解しているか。	0	6	6	4	・あまりわからない。 ・今年度はなかなか実施できていない。
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	1	7	7	1	
家庭地域・社会との連携	(1) 保育参観等、保育所を地域保護者に広く開放しているか。	1	5	7	2	・子育て応援 Day をやりたい声が多かった。 ・今年度は実施できていない。	
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	2	6	6	1	・今年度は実施できていない。	
	(3) 子ども達の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	2	6	5	2	・今年度は実施できていない。	
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	1	4	7	3	・今年度は実施できていない。	
子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	11	4	1	0	・開放していて利用者も多かった。	
	(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	9	5	2	0	・利用者同士も親しみやすい環境設定ができていたと思う。	
	(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	4	6	4	2	・支援センター「ふらっと」では実施することができていた。	
	(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	4	6	5	1	・日々の送迎時や連絡ノートを利用して相談などには応えていた。	
	(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	4	11	1	0	・必要に応じてできていると思う。	
情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	12	4	0	0	・園だより等の情報発信は毎月行っている。	
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設や小学校に対して周知してい	6	6	4	0		

信	るか。					
外部 評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	3	6	3	4	
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	3	8	3	2	・できていない。

【考 察】

取組全体としては、概ね肯定的な評価結果が得られた。その中で、特に以下の項目で評価2または1の割合が高く、課題として挙げられ、その対応が求められる。

- 1 「職員の適正な配置」（16名中7名）。令和2年度は開所初年度のため、また限られた職員構成であったため、必ずしも職員個々の特性を踏まえた配置であったとは言えなかった。今後、職員個々の経験や職能、思い等を踏まえたクラス配置、役割分担等、バランスのとれた職員配置に留意するが必要である。
- 2 「職員の運営参画」（16名中7名）。諸会議において、各職員が参加しやすい形式、方法を取り入れ、広く発言しやすい雰囲気を醸成するとともに、各職員が積極的に園運営に参画するような意識啓発が必要である。
- 3 「研修成果の共有」（16名中8名）。令和2年度はコロナ禍の中、研修の機会自体が限られており、また研修参加者からの伝達講習の場をもつこともあまりできなかった。職員相互の職能向上のためにも、研修成果を共有できるような場づくりに積極的に取り組む必要がある。
- 4 「保こ幼小の連携」（16名中9名）、「地域との連携」（15名中10名）。取組の必要性は十分に理解しているが、令和2年度はコロナ禍の中、連絡会議や合同研修等、連携の機会をもつことが難しかった。次年度以降、コロナ禍が収束した後は積極的に取り組んでいきたい。地域との連携についてもコロナ禍の中、同様である。